

# 県議会議長、議員とレディース中央会との 県県和く和く ミーティング

を開催しました。



(前列左から、杉本熊野議員、真弓俊郎議員、藤田正美議員、三谷哲央議長、野田勇喜雄副議長、貝増吉郎議員、後列右端今井智広議員とレディースメンバー)

レディース中央会（会長中川 千恵子）は、9月28日（月）津市において県議会議長及び議員の方々とのミーティングを開催しました。

これまで、会員の皆様方と県関係者との交流の機会として、19年度は知事、20年度は県農水商工企画室長との懇談を行っており、今年度は、県議会を傍聴した後、三重県議会からは、議長の三谷哲央氏はじめ、副議長の野田勇喜雄氏、各会派の議員の方々にご出席いただき、本ミーティングを開催しました。

議長の三谷哲央氏が、「今日は、県民代表としての皆さんの意見を聞きたい。」と述べ、開



かれた議会運営を目指して、議長の定例記者会見の実施、賛否状況の公表、出前講座、委員会等の公開、県議会ホームページでの議会の閲覧、誰でも傍聴できることなどを伺いました。

また、“和く和くたいむ”と題した懇談では、子育て支援・南勢地区の活性化・補助金制度のあり方など私たちが日ごろ思っていること、考えていることを直接県議会の方々に伝え、懇談しました。「開会前のブザーは何回なるの?」といった素朴な疑問にも「お昼は、休憩中だと思われがちですが、開会前に会議を行っていることが多く、開始に人が揃わない場合には、何回もブザーで知らせます。」と丁寧に答えてくださいました。参加したレディーズメンバーからは、「開かれた議会であ



ることがわかった。」、「『みえ県議会新聞』はどこで配布しているの?もっと広報しては?」等の感想もありました。議員の方々からは、県の将来像として、それぞれの夢を熱く語っていただき、また、委員会を公開にしたところ、今まで何時間もかかっていた議案が短時間で決議できるようになったというメリット、議長の定例記者会見は、知事の定例記者会見前に行っており、緊張しながらも楽しんで行っているなど、真剣な発言だけでなく、笑いあり、本音ありの和い和いミーティングとなりました。

